



世界に広がる“からし種運動”のネットワーク「声なき者の友」の輪
ニュースレターVol. 50 (2023年9月発行)

第七回 日本伝道会議に参加

1974年京都で第一回が開催されて以来、七年ごとに開催されてきた「日本伝道会議」も、今年で第七回目を迎えました。今回は岐阜県長良川国際会議場を会場に日本全国、さらには海外からの参加者を交え、対面とオンライン併用、しかも50歳以下の若い牧師たちが中心になって企画・実施するユニークな集まりになりました。私たちFVI「声なき者の友の輪」の分科会「もしイエス様が市長だったら」には、140名を超える方々が登録してくださり、映像を用いて陣内・湯本・神田がシェアする話を真剣に聞き入ってくださる姿に感銘を受けました。「隣人を自分自身のように愛する」という宣教の原点に立ち返る「包括的な働き」が諸教会で展開され、「神の国」の到来に貢献する日本の教会のために祈る幸いな時となりました。

代表カタリスト・神田英輔

エチオピア・アカコ村の近況と Dream to Shine free schooling に通う子供たちの様子



6月から8月中旬までエチオピアを訪問していました。

輝く夢フリースクール(DTS)を開始してから2年半、当初10名前後だった生徒たちは増え続け、学費を納めて通う通常学級への入学者数も100名近くになっていました。私達の活動が地域に信用され始めて、教育の意義を理解する保護者が増えたという成果でもありました。私(湯本)は到着した日の朝、日本から寄付された学習用品を届けることに胸躍らせていました。しかし教師のデレジェから予想外の事を告げられました。地域政府が首都アジスアベバを拡張して新首都を建設することを発表し、5月末にはアカコ村で多くの家屋が

取り壊され、その家々に住んでいた人々(約60%の人口)は立ち退きを命じられたというのです。街の管轄下のすべての地域にはインフラが建設されるため、下準備として今のアカコ村の建物が合法かどうかを確認するための部署がつくられました。調査の結果、アカコ村に現在建っている家々の半分以上が「非合法」と宣言されました。近年の地価の高騰によりアジスアベバでの生活が困難で移り住んだ人々は、正式な家の建設と届け出が難しい事情がありました。ア



カコ村へ向かうために山を登るバスの車窓からは、多くの崩壊した家が目に入ってきて心が痛みました。DTSは村内の私立学校の校舎を借りて運営しているのですが、住民が減ると大打撃を受け学校運営と教師たちに大きな負担になります。立ち去った人々の行方も気がかりですが、残された学校と教育を求めているご家族に私たちがどのように寄り添うことができるかを早急に考えなければいけません。デレジェはこの状況下で、困難を抱えている村の人たちと向き合い続けたいと覚悟を決めている様子でした。

6月末に執り行われた卒業式と終業式に集まった保護者たちに学校経営の厳しい状況を説明したところ、生徒数が増えるように協力するので学校を続けてほしいという声が上がりました。そしてDTSの存在は、日本からアカコ村の子どもたちの存在を覚えて祈りながら具体的行動を起こしている人たちがいることを知るという面においても、先の不安がつかまとう中で心の支えとして苦難を乗り越えるための希望になっていると話してくれました。私(湯本)からも、これから始まる夏季学級では仕事で忙しくなる皆さんや高学年の子どもたちをサポートするため(働く高学年が多いため)、幼児から低学年の子たちを預かる学童保育を兼ねたクラスを行うことと、新学期からも放課後フリースクールを継続することを伝え、一緒にこの困難な局面を乗り越えましょう、とお話ししました。



サマースクールの定員数は40名を限度とし事前登録を行っていたものの、初日に来た生徒は70名、1週間後には100名の子供たちが通ってきました。普段学校に通っていない子どもたちだけでなく地域の子ども全員が対象です。幸いにも日本から学習用具の寄付やご支援がありましたので備品は十分に満たされたことと、購入費が削減できた分、教室と教師を増やすことができました。しかし、エチオピアの物価はたった1年で倍近くに跳ね上がっているため継続を考えると不十分なのが正直なところです。この地域の方々、支援に頼り切ることなく努力をして改善策を講じようとする姿勢が見られます。それは学校やマネジャーのデレジェが私達の支援の意向をよく理解し伝え、良いコミュニティを築き上げてくれているからです。同時に、現地の方々の努力だけではどうしてもできない貧困の現状や国の事情もあります。そのような状況に対しては日本から私たちができることをもって手を差し伸べ、この地域の方々と一緒にこの局面を乗り越えられるように支え合えたらと願っています。

今、皆さんからのご支援を必要としています。これからもご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

その他の活動 (2023年6月~8月)

練馬グレースチャペル、東京武蔵野福音自由教会、立川福音自由教会、東京センターチャーチ、アジアの集い (以上東京都)、南浦和バプテスト教会、川口福音自由教会、戸田福音自由教会 (以上埼玉県)、東京基督教大学、聖望キリスト教会 (以上千葉県)、万座温泉ホテル (群馬県)、豊かな命キリスト教会・安曇野ファミリーチャペル合同集会 (長野県)、ICBC (愛知県) 旭川モーニングロータリークラブ30周年記念式典 (北海道)、いのちの泉プロジェクト (福岡・シンガポール) などで、カタリストとしての奉仕をさせていただきました。参加して下さった方々、共に労して下さった皆様に心より感謝いたします。

働きの支援、会費支払いのための送金方法

- ① 郵便振替： 口座名：「F V I」 口座番号：00180-0-300201
- ② ゆうちょ銀行、三菱東京UFJ銀行の口座もご利用いただけますので、ご希望される方はお問い合わせください。

*このレターは、希望された方に郵送させていただきます。送付先の変更、差し止めなどは、事務局にお知らせください。

*国内のカタリストを支援する場合、カタリスト名を、海外の活動を応援する場合、国名などを通信欄にご明記ください。

●「声なき者の友」の輪 事務局 email:info@karashi.net 090-3036-2776 (神田)